

令和 2～3 年度追加変更・修正

・令和 3 年 6 月 29 日開催の地震火山観測研究計画部会 (第 39 回) における報告以降に変更・修正の報告があったものを記載しています。

※「(11)この研究課題 (または観測項目) の連絡担当者」の電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスについては、個人情報に該当するため記載しておりません。

課題番号 : NICT01

実施機関名 : 情報通信研究機構

課題名 : 先端リモートセンシングによる地震及び火山の被害状況把握技術の高度化

変更前	変更後	理由
<p>(7) 本課題の 5 か年計画の概要</p> <p>情報通信研究機構の第 4 期中長期計画期間である平成 32 年度までにおいては、以下の研究活動の実施を計画している。平成 33 年度以降については、次期中長期計画の策定に合わせて検討を進める。</p> <p>平成 30 年度までの成果を引き継ぎ、Pi-SAR2 により地震・火山災害時に取得したデータから被害を判読する技術等の開発を進める。これまで航空機 SAR (Pi-SAR および Pi-SAR2) で取得したデータの観測データ検索・配信システムによる公開を進めることにより、災害軽減のための情報利用技術の高度化に関する研究に資する。また、実際の災害発生時には、航空機 SAR の積極的な運用と迅速なデータ配布・公開を行う。</p> <p>さらに、航空機 SAR 以外の先進的リモートセンサを活用した地震及び火山災害のモニタリング技術についても検討をすすめる。</p>	<p>(7) 本課題の 5 か年計画の概要</p> <p>NICT は、世界最高レベルの機能・性能を有する Pi-SAR X3 を令和 2 年度に開発した。令和 3 年度は、Pi-SAR X3 の初期機能・性能確認試験を実施して、試験観測を行える体制を構築する。令和 4 年度からは、Pi-SAR X3 の試験観測を開始し、土地利用、森林破壊、海洋油汚染、海洋波浪等、地球環境に関するメカニズムを解明するための研究や地震、津波、火山噴火、洪水等の自然災害における被災状況把握のための研究等を実施予定。</p> <p>また、地震や火山等の自然災害発生時には、その被災状況把握のための観測法や観測データの解析法について研究開発を行なっていく予定。</p>	<p>原本は第 4 期中長期計画期間について記載しているが、本年度 4 月より新しい中長期計画 (第 5 期) が開始されたため。</p>

(案)

課題番号：JCG02

実施機関名：海上保安庁

課題名：験潮

変更前	変更後	理由
(11) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者 電話： FAX：	(11) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者 電話： FAX：	記載事項の誤り、及びFAX廃止のため